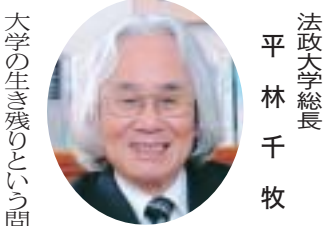




法政大学 校友連合会報

http://www.hoseinet.com

発行・法政大学校友連合会
発行人 岩部金吾
編集人 竹内實昭
〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-3
法政大学九段校舎内4階
電話 (03) 3264-1831 (代表)
FAX (03) 3264-4770
振替口座 00100-8-89141



法政大学総長
平林 千牧

大学の生き残りという問

新春に寄せて



法政大学校友連合会会長
岩部 金吾

毎年、新しい年を迎えて
岩部 金吾
法政大学校友連合会会長

大学との一体感で「校格向上」へ活動活発化

新春座談

総務・組織・財務 各担当副会長に聞く
広報・事業

冒頭、岩部金吾会長から、「今日は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい」との発言があり、新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。



写真右から2人目岩部金吾会長を囲んで、右から座談会出席者
鹿山秀佳 広報担当副会長
大石勝康 組織担当副会長
中野 忠 財務担当副会長
小林 一久 総務担当副会長
鈴木康治 事業担当副会長

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

卒業生の交流進め、組織拡大へ

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。



大石組織担当

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。



小林総務担当

岩部 金吾 会長
副会長は、副会長のみなさんに、新年にあたっての抱負を、大いに語っていただきたい。新春座談は始まった。

Hosei University logo
2006年
オール法政新春の集い
日時：2006年2月25日(土)
12:00～(受付開始11:00～)
会場：ホテルニューオータニ(芙蓉)
〒102-8578
東京都千代田区紀尾井町4-1
03-3265-1111
会費：10,000円
(同伴参加は6,000円)



※お申し込み、問い合わせは校友連合会事務局へお尋ねください。
電話 03-3264-1831
FAX 03-3264-4770
※当日は、多くの楽しい催しを企画しています。大勢の友人をお誘いあわせの上、気軽にご参加ください。

主催：法政大学校友連合会

新春座談(1面のつづき)

おられます。一方、岩部金吾会長は「法政大学校友憲章」を共通理念として校友が一体となって活力ある組織をつくり「校格」法政ブランドを挙げると述べています。今、大学のおかれた厳しい環境の中でお二人のビジョンはまったく相通するものと私は理解しています。そのため執行部門として会長の期待にどう応えるかがわれわれの行動にかかっているわけです。

総務委員会では組織、財務、広報、事業の各部門に含まれない事項を解決していかねばなりません。各部門からの信頼に基づいた情報の提供と応援をお願いしたい。部門間の調整、相互支援などバランスの取れた迅速な対応が求められていると理解しています。

課題は会員拡大
財政確保への実行

司会 ささまざまな活動を実行する組織体として、活動費の確保は頭の痛いところ



中野財務担当

ですね。中野さんいかがお考えですか。

中野 昨年度の決算書を見ればお判りの通り、われわれの会は年間約3000万円の費用を必要とする組織体です。内訳を見れば、人件費以外に大きく支出されるのは会報発行費とともに発送費が大きなウエイトを占めています。地域支部や

団体支部に対する交付金とか、学生諸君に対する表彰事業、学術研究に対する補助金などへの計上ができないうのが現実の姿です。勿論、支出の削減、圧縮、見直しの皆さんご協力をお願いしたい。卒業生の連帯向上で、学校、現役学生とも一丸となり「オール法政の校格」を高めていくことに貢献したいですね。そのための努力をしたいと思います。

各組織をつなぐ努力
3カ年計画も視野に
鹿山 広報委員会の現在の活動状況を報告します



鹿山広報担当

と、次期会報のための企画案づくりはかなり早く発行日の4ヵ月前から始めます。繰り返し検討のうえ正副会長会議などにもはかり、校友連合会の総意が紙面に生かされるように努力しています。企画案が固まると、各面、各項目毎に広報委員がそれぞれ担当して、取材や原稿依頼、原稿作りに奔走します。編集会議はほとんど毎週開かれ、紙面割付、校正作業では依頼原稿の遅れや急な記事差し替えなどもあり、5、6回に及ぶこともあります。それでも、誤植を100%なくすることは難しく、引き続きゼロ完璧を目指して頑張っています。各地域支部からの原稿も多く収容しき

れないほどになってきました。ご希望記事通りに添えない場合もありますが、主旨は違えずリライトさせていただきます。卒業生の皆さんの声(短信)欄を充実したいと思っています。なお、今後、会員拡大・財政確立に応じて発行回数を増やしていきたいが、当面は、事務局と各団体・組織をつなぐものとして「事務局便り」を年に4、5回発行したいと考えています。

短信

学友を想う
47年法学部法律学科卒
田中 重次



旧制大学を卒業して、早くも60年近くの月日が流れる。光陰矢の如しである。当時元住吉の木月にあった予科(予科長は井本健作先生)に入学したのは昭和17年で大東亜戦争真只中の時代であった。当時は郷里大阪から東京までは夜汽車で9時間も揺られて行ったことなど懐しく思い出す。伝統ある我が法政大学は創立125年を迎えるが、その長い歴史の中で私達の学生時代は戦乱の中で生死を分けた激動の悲惨な時代であった。学業半ばにして制服の襟と角帽を脱ぎ捨ててペンと銃に代えて戦の庭に馳せ参じ、世に謂う学徒出陣をしたことはいまも忘れることが出来ない。幾多の学友がお国のために身を殉じた不運な時代でもあった。「パンカラ法政ボーイ」にもこんな時代であったことを現在の人にも知って貰えれば幸いである。今は亡き散華せし学友に捧ぐる歌――

いさぎよく 戦の庭に
逝きし学友 君を
在りし日偲び
私九死に一生の幸運を得て無事帰還して市ヶ谷の大学(総長は野上豊一郎先生)に復学し、何とか卒業はしたものの戦後の混乱の中では就職先など皆無であったが、私は幸いにも総合商社(三井物産)に奉職することが出来たのは幸運と言う外はない。人の一生には「運」と言うものが付き纏うものを身をもって体験した。今年は終戦60年の節目を迎えたが、敗戦日本の復興は目覚ましく、今や世界の一等国にまで進展したが、忌しい戦乱の時代に学生時代を過ごした者にとって、過ぎし日の数々の思い出の一駒を懐古するとき、胸話り閑無量である。現在は地元の関西校友会の古参として顧問を委嘱され、残る人生を母校のためにお役に立てればと思う今日此項である。終りに!! 声高々に叫びたい。よき師 よき友 つどい結べり!! 我が法政大学 永遠なれ!!

「愛・地球博」を見学!
65年卒
倉地 伸幸

65年卒業したクラスメイトが昨年9月1日・2日に「愛・地球博」を楽しむクラス会を開催。2年前に東京でクラス会開催時に晴海博覧会に「白い街」名古屋で一献交わそうと約束したのがきっかけ。今回はご夫婦で参加したメンバーもあり、大変楽しいクラス会になった。2日は「愛・地球博」を見学、中には混雑をきき、名古屋城、徳川美術館など、名古屋の名所見学グループとにわかれ、それぞれ楽しんだ。次回は群馬県の佐藤・川田両君の幹事で開催する。

法大アメリカン研究所訪問

ニューヨークの9・11事件発生から4年、楽しみにしていた法政IT研究所を市、街となつて一体化して発展している姿を目にしてきた。習日からは観光である。国立公園ヨセミテ、グラン

アメリカ法友会と交歓会
楽しく開催 放遊記



ドキャニオンも見て回ったが訪れた観光客はバス単位丸ごと、団体個人を問わず絶対ゴミは出さないマナーの良さは、私達の自覚を含めて見習う必要がある。さすが世界に先がけて「国立公園法」を設立した国らしく、自然保護思想の徹底した人達に関心した。驚きはラスヴェガスだ。年1〜2度しか雨が降らない砂漠地帯、それが24時間不夜城の歓楽街を作り上

シンガポール支部総会が開催される

校友連合会シンガポール支部定期総会が、昨年7月21日(市内、「レイガータン・オーチャード」で開催された。総会には日本より応援ツアーに参加した4人、シンガポール支部11人、タイ橙友会から5人の計20人で盛大に開催された。総会では異執行支部長(80年経経)によつて進められ、参加者の自己紹介で始まり、お祝いのメッセージは、校友連合会岩部善吉会長のメッセージを佐藤忠篤(60

海外から

支部の在籍者は31人で、法学部5人、経済学部5人、工学部4人、文学部5人、経営学部9人、社会学部3人の卒業生となっている。現地で活躍のOG、OB

謹賀新年

順不同

法政大学校友連合会会長

文化シャッター(代表取締役会長)

岩部金吾
経済学部1956年卒

法政大学

河端照孝
経営学部1963年卒

法政大学理事

アカデミック・キャピタル・インベストメント(株)代表取締役
松本孝利
工学部1966年卒

法政大学

福元淳一
経済学部1967年卒

法政大学

古澤壽輔
経営学部1963年卒

法政大学校友連合会副会長(組織担当)

法政一高同窓会会長
アメリカンフットボール部OB会
大石勝康
経済学部1953年卒

法政大学校友連合会副会長(広報担当)

東京都学校生活協同組合
東京都教育用品株式会社
生協理事長
鹿山秀佳
社会学部1959年卒

法政大学校友連合会(財務担当)

副会長
中野忠
経済学部1959年卒

法政大学校友連合会(総務担当)

副会長
小林一久
工学部1964年卒



理工系学部 の隆盛なくして 大学の隆盛なし



社会のニーズに応じて教学改革がすすむ最近の工学部の状況を西海英雄工学部長にご報告いただいた。
(取材・原田和夫)

工学部長
西海 英雄

2005年3月をもって
退任された清成総長は、在
任中に6学部を11学部を増
やされた正に法政大学中興
の祖と言えましよう。私は、
前工学部長、中野久松教授
に続き、2004年4月よ



り工学部長
となり、1
年間、総長
と接する機
会を得まし
た。ことあ



小金井キャンパス (2000年)

4月に生命機能学 科誕生

工学部教学改革は着々と
進行しています。2004
年度に工学部教学改革とし
てシステムデザイン学科を
新設し、土木工学科を都市
環境デザイン工学科へ改名
し、新たに購入した緑町校
地にマイクロ・ナノテクノ
ロジー研究所を開設しまし
た。2005年度4月から
大学院システムデザイン研
究科がスタートしました。

建物・設備も 新する

移転以来の古い校舎も建
て替えることがすでに決ま
っていますので、教学改革
に併せて建物・設備も全く
一新し、新しいコンセプト
を打ち出したと思っています。
議論が始まりました。

リストラなき教学改革

両学部併せて150名余
りの教員枠を抱える小金井
キャンパスのリストラなき
教学改革を行うことは実に
重い仕事です。しかし、工
学部が教育・研究を60年間
続けてきた過程にはいろい
ろの困難があり、それを先
人たちは克服してきました。

ネット2006構想

「個性」を探る教育、研究
を目指します。

大学では、1997年から
市ヶ谷、多摩、小金井の
3キャンパス間のコミュニ
タネットワークの整備を
行っております。この整備
は、3年に1回のペースで
リブレースを重ねており、
現在、第4期整備計画で
あるNet2006の導入
準備が進んでおります。計
画では、授業支援や遠隔講

4学科から10学科へ (工学部62年の歴史)

工学部は1944年に創
立された航空工業専門学校
を前身としています。19
50年に学制改革により法
政大学工学部となり、64
年に現在の小金井市にキャン
パスを移しました。
50年に工学部に設置され
た学科は、(1)機械工学科、
(2)電気工学科、(3)建設工
土木工学科、(7)建築学科、
(8)経営工学科
の8学科体制
が確立しまし
た。
02年には電
気電子工学科
から情報電気
電子工学科へ
改名、04年に
は土木工学科
が都市環境デ
ザイン工学科
に改名し、ま



小金井キャンパス (1964年)

た、システムデザイン学科
が新設され、9学科体制に
至りました。
06年4月には10研目の学
科として生命機能学科が新
設されます。
以上のように、工学部は
創設以来、時代の変化、科
学技術の発展に呼応して大
きな変化を遂げています。

新時代の情報科学を学ぶ

(情報科学部の誕生)

情報科学部は、高度デジ
タルメディア情報化社会に
対応し、00年4月、(1)コン
ピュータ科学科と(2)ディジ
タルメディア学科が開設さ
れました。
感性の高いアンテナを備
え、人を動かすコミュニケ
ーション能力と高い専門技
術を習得し21世紀の社会で
新たな価値を創造すること
ができる即戦力とスピード
を備えたITプロフェッシ
ヨナル・メディア技術者を
育成することを目指してい
ます。
また、国際化時代に対応
するために、英語でものを
考える、表現できる能力の向
上を目指し、英語による講
議も導入しています。
コンピュータ科学科で
は、コンピュータそのもの
や情報通信ネットワークな
どの基盤技術を学ぶことも
に、より速く、より賢いコ
ンピュータ実現のために応
用技術まで学びます。
ディジタルメディア学科
では、メディアの表現・変
換・認識技術から、感性・
アートのメメディア表現技
術およびそれらの基盤とな
る数理基盤まで、いわゆる
情報そのものを対象とした
技術を学びます。

研究所紹介

イオンビーム工学 研究所

イオンビーム工学におけ
る私立大学有数の研究設
備。研究内容ともに国際的
な評価を受けている。
現在「イオンビーム」によ
る固体材料の高機能化に関
する研究を中心として半導
体、新素材分野におけるイ



タンデム加速器

マイクロ・ナノテ クノロジー研究 センター

本研究センターは、文部
科学省による私立大学ハイ
テク・リサーチ・センター
整備事業の選定を受け、ナ
ノテクノロジーの総合的な
開発・発展を目指して、2
003年度より5年間の計
画で発足させました。ナノ
テクノロジーを根幹とする
共通技術として、「高性能
ナノメテリアルの開発およ
びマイクロ・ナノメカトロ
ニクス」の研究、「分散
型耐環境ナノ電子デバイス
の研究」、「生命情報と生
体機能のナノバイオロジ
ー」のプロジェクト体制で
研究を行っています。



マイクロ・ナノテクノロジー研究センター

計算科学研究 センター

没入感・臨場感を体感出来
る3次元映像空間を提供す
るビジョンドームが、国内
の大学で初めて稼働を開始
した。
研究者は、計算結果を3
次元映像としてビジョンド



Vision Dome T-410

法政大学校友連合会

監事 岡田 脩
経済学部1956年卒

法政大学校友連合会 茂原支部長

法政大学校友連合会

監事 渡邊 光夫
経済学部1958年卒

山口経済同友会顧問
山口産業株式会社取締役相談役
法政大学校友連合会

理事 伊藤 隆司
経済学部1953年卒

法政大学校友連合会理事
東京紙商法友会会長
河内屋紙株式会社
代表取締役
長

岩村 元雄
経済学部1960年卒

法政大学応援団OB会相談役
法政大学校友連合会

理事 安藤 文雄
経済学部1962年卒

法友野球倶楽部(副会長)
法政大学校友連合会

理事 吉田 義夫
経済学部1964年卒

法政大学校友連合会

理事 安齊 清一
経済学部1965年卒

法政大学経営学部同窓会会長
法政大学校友連合会

理事 鈴木 俊昭
経営学部1966年卒

法政大学関西校友会副会長
法政大学校友連合会

理事 河村 禧郎
経済学部1967年卒

法政大学校友連合会

顧問 末石 恒夫
経済学部(旧)1951年卒



地域支部・卒業生団体から

卒業生の皆さんの個人、地域・団体、クラス会、ゼミ、同窓会などからの積極的な投稿をお待ちしております。文字数250字以内で、多くの原稿を掲載するため一部原稿をリライトする場合があります。ご了承ください。
(高根典文、水嶋雅之、宮本幸彦、柳田正義)

法友さくら会

平林新総長を開む会を開催

05年10月8日(土)、東京・茅場町パールホテルで、午後12時30分から平林千牧新総長を迎えて、主催法友さくら会・後援東京法友会・法友会中央支部の平林千牧新総長を囲む会が開かれた。

会は第1部と第2部に別れ、第1部では会場提供者のパールホテルユアサ・フナシヨク(株)代表取締役上田弘氏(経済学部卒)・校友連合会副会長小林一久氏・法友さくら会代表吉田昭典氏が開会の挨拶。つづいて、平林新総長が講演で、今後の大学改革について語った。

①これからの少子化にともない各大学の生きる道は厳しい、したがって海外の大学や国内の大学と教育の提携を行う。

②各学部の改革を行うが、特に工学部の改革に重点を置く。(A)生命機能学科を06年(B)デザイン理工学部を07年(C)都市環境デザイン科(仮)を各設置し教育の高度化を計る。更に大学院の改革にも触れ、社会人にも参加できるビジネススクールを設け、会計大学院とも言える公認会計士の養成



授の頃のゼミ生・細田真由美さんから花束の贈呈がおこなわれ、ついで東京法友会代表鈴木明吾氏・横浜支部長今井正七氏が各御礼の挨拶をし第1部を終了した。

第2部では、アマチュアレスリングで7回・オリンピック2回にも優勝した川野俊一氏の音頭による乾杯で懇親会が開かれた。その間、各支部役員が挨拶・法友さくら会副会長栗原俊夫氏の閉会の挨拶で15時30分に終了した。
(61年経済卒・水嶋雅之)

鎌倉法友会

材木座での地引き綱

鎌倉法友会恒例の地引き綱を05年10月2日、地元、材木座海岸で実施した。昨年は風が強く断念させられたが、今年は天気が味方した。地引き綱船は8時過ぎに沖合に。10時過ぎから綱を引くことに。挨拶は地引きの前にとの予定が多少混乱。今回の獲得は小物で少々残念だった。

会場が盛り上がりつつあった。この日、鎌倉法友会中島会長から挨拶。校友連合会から駆けつけた中野副会長、大学より柳沼常務理事から激励の挨拶。そして、お土産は恒例のシラスと朝取りの鮮魚。

また、校友連合会から安藤理事、坂本さん。大学から古澤監事、東総務部部長、恵良二、三高等学務担当が見えた。さらに姉妹支部の三島加藤支部長、世田谷支部佐藤副幹事長、桐生石井副会長、練馬小鷹支部長らが来賓として参加された。

祝電も横浜支部の營養億衆議院議員から頂いた。総勢88人の参加で役員の奥様方などの協力による刺身、天ぷら、焼きそば、ジュース、ビール、そして持ち込みのウイスキーなどで秋の鎌倉海岸を楽しんだ。

来年こそは大物をと今から楽しみにしている。
(文責・副幹事長、岡田和則)



茨城県南法友会

17年度総会を開催・72人が参加

05年度茨城県南法友会総会と懇親会を、9月10日(土)16時から、土浦市京成ホテルで開催した。参加人数は来賓を含め総勢72人。

総会は、中庭での記念撮影、会場に移り、物故者黙祷のあと開幕し、今年は春原会長挨拶に続き、松本名誉会長挨拶。その後議事に入り、宮本副会長から「会則改定と役員改選」について、横田副会長から事務局報告、そして小田部幹事長から会費徴収と統合問題が未決越審議中であることなどを説明をいただいた。

議事の内容とは来賓の大学総務部部長東氏、校友連合会副会長小林氏、同事務局坂本さん、水戸法友会副会長大久保氏、後援会茨城支部支部長上田氏として法政平ノ木会、法政二高OB会、会長今泉氏よりご挨拶ならびにお祝いの言葉を頂戴し、事務局坂本さんからは、校友連合会岩部会長のメッセージも合わせてご披露いただいた。東氏の挨拶の中に「全国からの生徒獲得を目指し、施設、設備の充実・拡大を推進している」との話があり、前進を続ける大学の様子が聞けて嬉しく思った。

総会終了後は第2部の懇親会。今年も当会顧問進士先輩の元氣な乾杯発声でスタートし、途中イベントとして母校のOBでもある磯家・初音家左橋師匠を迎え、楽しく賑やかに、そして笑顔の絶えない有意義な一時を過ごすことができた。締めは、篠原先輩(85年卒)の気迫あふれるリードで、恒例の校歌の斉唱を行い、握手をし、肩を叩きあいながら再会を誓い合った。また、歓談中に、松本名誉会長が大学評議委員会を2期勤めた功績が認められ、清成前



紹介も行って、懇親会の程よい時機に校友の一人である60年卒の宮崎又彦氏によるハーブ演奏で母校の校歌やハーブならでの曲目を披露して、懇親会に花を添え、盛大にまた賑やかな中に懇親会を終了した。そのあと会場一杯肩を組んで輪になり、応援団OBの谷川和穂氏のリードで恒例の校歌を斉唱し、福井の夏の一夜に高らかに氣勢を上げ、大変盛り上がった。

福井県法友会

第26回総会開催

福井県法友会の26回総会が05年8月27日、福井県のワシントンホテルで85人が出席して、盛大に開催された。役員会ならびに総会を行なったあとと全員での記念写真撮影後、懇親会に移った。



前年、江守副会長が挨拶、吉田副会長の乾杯のあと、懇親会に移った。

昨年の福井豪雨の後だけに、会場狭しとばかりに、名刺の交換や学生時代にタイムスリップして話が弾むなか、平成卒業の若き会員を壇上に上げ紹介をした。また、今年新たに入会された会員の自己

豊島支部

総会開催

恒例の法政大学校友連合会豊島支部総会、懇親会が05年6月22日(木)午後6時より池袋東武バネットホールに於いて開催された。

開会に当り先ず始めに全員集合写真撮影の後、金井進氏(88年卒)の司会で、神田光一氏(77年卒)が開会の辞を述べ、次いで藤ヶ谷政明(46年卒)支部長の挨拶の後、校友連合会大石勝康(53年卒)副会長が大学発行の資料を多数持参の上、大学と校友連合会の現況に就いて詳細な説明をいただいた。

懇親会に移り、冒頭山崎光雄(58年卒)前大学理事から理事選任に当たっての支部員の協力に謝意を表し在任中の活躍ぶりを披露し、大学と連合会豊島支部員の健勝を祈って乾杯の音頭をとられた。



本日の支部総会に来賓として出席された、小鷹俊彦(58年卒)練馬支部長、今井正七

(42年卒)横浜支部長、渡辺文雄(72年卒)豊島区役所法友会会長より祝辞をいただいた。

しばらく懇談の後、一人ずつ立ち上って自己紹介を行い支部員の活躍ぶりを相互に知り得た。終りに応援団OBの岡部勝佳氏(85年卒)がリードし、学生時代に戻って肩を組みながらの校歌を斉唱。鈴木慶市氏(54年卒)の閉会の辞で来年の再会を約して散会した。

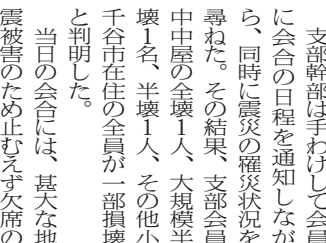
小千谷・魚沼支部

中越大地震後、初会合をもつ

05年6月24日法政大学小千谷・魚沼支部の会合が小千谷市内の料理屋、「山吹」にて開催された。支部の会合は3年ぶり、昨年の中越大地震後初めての会合だった。

中越大地震、それに続いて19年ぶりの豪雪と小千谷・魚沼はこの間大変な自然災害に見舞われた。余震もたまに雪もようやく消えかけた4月頃支部幹部は連絡を取りあい、復興祈念の意味もこめて震災後初会合をもつことに決めた。

支部幹部は手わけして会員に会合の日程を通知しながら、同時に震災の罹災状況を尋ねた。その結果、支部会員中古屋の全壊1人、大規模半壊1名、半壊1人、その他小千谷市在住の全員が一部損壊と判明した。



当日の会合には、甚大な地震被害のため止むえず欠席の会員もいたが、それでも10人ほど集まった。米岡支部長の開会の挨拶の後、お互いの無事を喜び、杯を傾けながら、しばし歓談した。



江氏の労をねぎらいながら、氏からは市の震災後の状況全般を聞くことができた。また地元北越銀行勤務の会員、江氏からは地震直後の銀行の対応ぶりを聞いた。地震にめげず、店舗を再開したドラッグストア経営の江氏も元氣な顔を見せくれた。すべて良い情報交換の場となった。

清水支部

総会を開催

05年11月11日(金)、校友連合会清水支部では平成17年度総会を開催した。



はじめに百々支部長(51年卒)より清水支部の50周年を迎えた経過が報告され、出席の各位に謝辞がべられた。清水支部の校旗は歴史のあつみあり52年の歴史が感ぜられ、全国の支部旗と比較し重みがあるといわれている。清水支部長として25年つとめてきた百々支部長は、11月細川勇氏(60年卒)にバトンタッチする旨明言された。今回の総会は昨年11月15日の静岡

新聞の朝刊に記事として掲載された。特に平林千牧総長の講演された内容について特に報道されている。
(事務局 右上記)

江東法友会

組織を一新して総会を開催

江東支部は、この度江東法友会と名称を変えて、新たなるスタートをきった。役員が会合を重ねて、総会開催の準備を行い開催にこぎつけた。総会は05年11月25日(金)午後6時より、会員約30人が出席して亀戸駅近くの「アンフェリシオン(旧東京平安閣)にて開催された。先ずは、阿部会長の挨拶のあと、議事に入り第1号議案05年度事業活動報告、2号議案規約の制定、3号議案新役員選任、と進み総会は閉会した。この後、懇親会に移り、阿部新会長の挨拶があり乾杯となった。会員の自己紹介等があり、最後に校歌を斉唱してお開きとなった。新役員は次の通りです。

法政大学校友連合会
顧問 星野次男
経済学部1951年卒

法友体育連合会
名誉会長 佐伯弘治
法学部(旧)1950年卒

法政大学
評議員 増田昌司
経済学部1955年卒

法政大学
評議員 佐藤瑞穂
工学部1958年卒

法政大学評議員
法政大学山本弘文ゼミナール同窓会
会長 林恒雄
経済学部1958年卒

法政大学第二高等学校同窓会会長
評議員 岡田安弘
経済学部1959年卒

法政大学
評議員 神沼邦彦
経済学部1963年卒

学校法人西岡学園・札幌山の手高等学校
理事長 西岡憲廣
卒業生評議員・1963年法学部卒
校友連合会北海道支部長・札幌支部長
札幌市西区山の手二条八丁目三番十二号
FAX (011) 641-1173 641-1375

法政大学評議員
工学部同窓会
会長 阿部鞏
工学部1966年卒

法政大学評議員
(財)競艇情報化センター常務理事
船越眞
経営学部1966年卒

学部同窓会

経営学部同窓会

同窓会創立10周年
記念講演会・祝賀会
開催される。

経営学部は、1959年(昭和34年)に創設され、昨年で46年目を迎えた。経営学部同窓会は、1995年3月に発足し、他の学部同窓会と共に大学や経営学部に対し積極的な活動を展開している。05年11月29日(火)、ホッパード・タワースのスカイホールで、創立10周年の記念講演と祝賀会を開催した。

元経営学部長で、名誉教授・経済学博士の岡田裕之氏が「経営学部発展史」創立から今日まで」という演題で、大学及び経営学部の歴史と今日に至るまでの苦労話等を交えて講演。続いて、かつての市ヶ谷校舎移転問題に触れ、当事者の立場からいきさつを一部始終にわたって語るとその真相に出席者一同驚嘆した。終了後、ラウンジで祝賀会が行われ、盛況のうちに大きな成果を挙げたこととなった。

(66年卒・船越眞)

現代福祉学部同窓会

第2回総会を開催
第2回同窓会総会・懇親会が昨年の11月5日(土)、ホッパード・タワースのスカイホールで、創立10周年の記念講演と祝賀会を開催した。

経営学部は、1959年(昭和34年)に創設され、昨年で46年目を迎えた。経営学部同窓会は、1995年3月に発足し、他の学部同窓会と共に大学や経営学部に対し積極的な活動を展開している。05年11月29日(火)、ホッパード・タワースのスカイホールで、創立10周年の記念講演と祝賀会を開催した。

元経営学部長で、名誉教授・経済学博士の岡田裕之氏が「経営学部発展史」創立から今日まで」という演題で、大学及び経営学部の歴史と今日に至るまでの苦労話等を交えて講演。続いて、かつての市ヶ谷校舎移転問題に触れ、当事者の立場からいきさつを一部始終にわたって語るとその真相に出席者一同驚嘆した。終了後、ラウンジで祝賀会が行われ、盛況のうちに大きな成果を挙げたこととなった。

(66年卒・船越眞)

経営学部は、1959年(昭和34年)に創設され、昨年で46年目を迎えた。経営学部同窓会は、1995年3月に発足し、他の学部同窓会と共に大学や経営学部に対し積極的な活動を展開している。05年11月29日(火)、ホッパード・タワースのスカイホールで、創立10周年の記念講演と祝賀会を開催した。

元経営学部長で、名誉教授・経済学博士の岡田裕之氏が「経営学部発展史」創立から今日まで」という演題で、大学及び経営学部の歴史と今日に至るまでの苦労話等を交えて講演。続いて、かつての市ヶ谷校舎移転問題に触れ、当事者の立場からいきさつを一部始終にわたって語るとその真相に出席者一同驚嘆した。終了後、ラウンジで祝賀会が行われ、盛況のうちに大きな成果を挙げたこととなった。

(66年卒・船越眞)

経営学部は、1959年(昭和34年)に創設され、昨年で46年目を迎えた。経営学部同窓会は、1995年3月に発足し、他の学部同窓会と共に大学や経営学部に対し積極的な活動を展開している。05年11月29日(火)、ホッパード・タワースのスカイホールで、創立10周年の記念講演と祝賀会を開催した。

元経営学部長で、名誉教授・経済学博士の岡田裕之氏が「経営学部発展史」創立から今日まで」という演題で、大学及び経営学部の歴史と今日に至るまでの苦労話等を交えて講演。続いて、かつての市ヶ谷校舎移転問題に触れ、当事者の立場からいきさつを一部始終にわたって語るとその真相に出席者一同驚嘆した。終了後、ラウンジで祝賀会が行われ、盛況のうちに大きな成果を挙げたこととなった。

(66年卒・船越眞)

経営学部は、1959年(昭和34年)に創設され、昨年で46年目を迎えた。経営学部同窓会は、1995年3月に発足し、他の学部同窓会と共に大学や経営学部に対し積極的な活動を展開している。05年11月29日(火)、ホッパード・タワースのスカイホールで、創立10周年の記念講演と祝賀会を開催した。

元経営学部長で、名誉教授・経済学博士の岡田裕之氏が「経営学部発展史」創立から今日まで」という演題で、大学及び経営学部の歴史と今日に至るまでの苦労話等を交えて講演。続いて、かつての市ヶ谷校舎移転問題に触れ、当事者の立場からいきさつを一部始終にわたって語るとその真相に出席者一同驚嘆した。終了後、ラウンジで祝賀会が行われ、盛況のうちに大きな成果を挙げたこととなった。

工学部同窓会

05工学部ホームカミングデーを開催
秋深まる昨年11月5日、午後1時より小金井キャンパスにおいて、「05工学部ホームカミングデー」が工学部同窓会主催、工学部共催、法政大学経営者懇談会・工体連OB会の後援で開催された。開会に先立ち、総長代理として来賓された堀江拓充事務理事からの挨拶に続き、最近の太学事情について話を伺った。第1部の「記念講演」は、大河内正一教授による「生き

定した。引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

引き続き行われた懇親会では、先生を囲んで地方から出席した方を混え旧交を深め合った。(同窓会会長・田中雄二)

同窓会からの来賓も迎えて、多くの恩師のほかOB・OG約150名が参加した。阿部肇同窓会長の主催者挨拶に続き、鈴木公夫経営者懇談会会長、小林一久校友連合会副会長の祝辞の後、菊池貢一工体連OB会長の乾杯で開宴された。終始和やかな雰囲気の中、最後は現役応援団の指揮による校歌斉唱をもって幕を閉じた。参加した卒業生にとっては、母校を一層理解する機会となり、帰属意識の高揚に繋がる有意義な一日を過ごすことができた。

法学部同窓会

法学部同窓会の近況について
法学部同窓会も校友及び在学生の支持を得て着実に発展しております。平成17年度から同窓会会長に本学の労働法教授金子征史先生が就任され、同窓会理事長の五明公男先生(国際文化学部教授、元法大野球部監督)のリーダーシップのもとに、大学内で理事会を開き、理事63名が同窓会を更に発展すべく頑張っております。年2回の会報により同窓会会員の皆様に大学、法学部、各卒業生の方を紹介するなどしております。

同窓会では、広く地方の同窓会会員の方々に理事に就任していただくべく募集しています。理事会の出席が困難であれば年1回の総会に出席でもよろしいかと事務局では考えております。理事の資格は法学部の卒業生であれば結構です。是非、ご応募下さい。理事会の毎回の資料を送付します。

連絡先
〒101-0047
東京都千代田区内神田1-8-9 福田ビル6階

会場を替えるの懇談会では、船橋晴俊社会学部部長の謝辞と挨拶後、乾杯の発声で業種に分かれたテーブルでの学生と卒業生との会話と交流が夜遅くまで繰り広げられ、肩を組んで校歌斉唱のロンドで、後輩への応援歌の支援を約して、エールを送った。

同窓会主催、教授会後援の連続講座・仕事と学問・卒業生のキャリア経験に学ぶが、05年11月5日に開催された。この講座は卒業生がゲストスピーカーとなり、現役学生に人生と仕事や学問について考えてもらおうと企画されたもので、学生、教員、同窓会が中心となり運営して今回で5回目になる。ゲストには、ピア・デザイナー・ビル評論家・コビーライターの田村功一(65年卒)が「僕は仕事を遊んでいる」とJRのロゴを作った男のテーマで展開され、質問攻めの活況溢れる講座となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

法学部同窓会事務局
〒03-5283-7371
FAX 03-5283-7455
http://josei-houkoku-to-sakai.jp

同窓会主催、教授会後援の連続講座・仕事と学問・卒業生のキャリア経験に学ぶが、05年11月5日に開催された。この講座は卒業生がゲストスピーカーとなり、現役学生に人生と仕事や学問について考えてもらおうと企画されたもので、学生、教員、同窓会が中心となり運営して今回で5回目になる。ゲストには、ピア・デザイナー・ビル評論家・コビーライターの田村功一(65年卒)が「僕は仕事を遊んでいる」とJRのロゴを作った男のテーマで展開され、質問攻めの活況溢れる講座となった。

社会学部同窓会

就職セミナーを共催
シンポジウムと懇談会
経済学部同窓会との共催による第12回就職セミナーが、多摩3学部教授会の後援で、約240人の学生が参加して05年10月24日に開催された。今回は趣向を替えて「仕事と生きがい」をテーマに各界の第一線で活躍する卒業生を招き、本校出身の飯田隆経済学部教授のコーディネーターでシンポジウム形式で進行。主催者を代表して鹿山秀佳会長の挨拶の後、司会の酒井義之さんにより4人のパネリストが紹介。マスコミからテレビ朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)、金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

の「重慶飯店」新館。13時から新年会(会費六千円)を開催する。(65年卒・伊藤正義)

企業経営研究OB会

設立総会を開催する
1963年、社会学部応経学科の中に設立された、企業経営研究会のOB会の設立総会を、05年10月15日に、熱海市のホテルで開催した。なにせ卒業以来40年も経過しているの、後輩達は誰一人、わかる人がいないほど変な話しで、今回は一年ごとに開催し、今回、参加できなかった人も、今後は連絡をとり、OB会を拡大していくと思

う。OB会の目的は会員相互の親睦と、母校の発展を支援していくことと決議した。集まれ企画OB!

(66年卒・幹事長・林矩之)

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

OBゲストの第1回は、米州銀行勤務の亀沢利幸さん(91年卒)。第2回は、テレビ朝日朝日広報統括チーフ・ロデュサーの保坂正紀(80年卒)。金融界から明治安田生命公法人第一部長の小林弘明(76年卒)、IT業界からコスモテック特許情報システム取締役の長谷川章(56年卒)、公務員として町田市役所主事の山崎佳子(04年卒)さんの親子孫世代の4氏で、質疑応答もあり熱気溢れる会となった。

泉、未来館、船の科学館等から新年会(会費六千円)を開催する。(65年卒・伊藤正義)

成田国際空港施設見学

4月7日(金)
現在成田空港施設と打合せ中、詳細は別途ご案内。
担当・田口(04-7188-8499)

初夏の荒川船巡り
5月19日(金)、会費1千円(昼食代)
集合 10時30分、JR赤羽駅大宮寄駅口
建設省視察船「あらかわ」に乗船し見学、定員30名のため先着順にて受付。詳細は別途ご案内。
担当・矢部(048-5931465)

ヨット部と八景島を楽しむ会
7月30日(日)10時、金沢シーサイド八景島駅前集合。会費3千円(家族5千円)法政大学ヨット部会館訪問、船艇に乗り港内遊覧、ヨット部の手造り料理を楽しむ。
日程 9月中旬(8泊10日)
行程 トロント・ナイアガラ・フォールズ、ナイアガラ滝、霧の乙女号乗船。カルガリー、バンフ、サファリー・マウンテン、レイク・ルイー・スカティオンロッギー、コロニア大氷河。バンクーバー、ビクトリア等周遊。費用その他詳細は次号でご案内。
担当・持丸(047-4661637)

1日で巡る世界都市(ローマ・香港・Y)
3月11日(土) 会費5千円(家族4千円)
集合 10時、新橋駅ゆりかもめ乗車口
行程 早春の臨海エリア、トロピカル、リトル香港、自由の女神、大観覧車、大江戸温泉

秋の散策会は小江戸川越、新年会は箱根マラソン
第7回秋の散策会は05年10月9日、19人が参加し江戸時代の街並みが残る川越市内をガイド付で散策し、老舗割烹吉虎(社長吉崎秀雄理事)で創業来の伝統のすき焼きを堪能した。

新年初顔合わせは1月3日JR横浜駅東口・崎陽軒前に11時20分に集合し、恒例の箱根駅伝マラソンを築地橋にて復路応援した後、横浜中華街



特集

法政大学OBを展望する

経済界の実力者

経済界で活躍した(する)法政OBを「戦前」「戦後」「現在」に分類してご紹介する。紙面の制約で多数のOBを記載できずご容赦願いたい。また、個人情報保護法に配慮して、出生地、生年月日、住所連絡先、卒業年度は省略している。戦前編に記載のOBは、昭和6年版、7年版、11年版、16年版(毎日年鑑の「日本人名鑑」にも収録されている人物でセレクトは困難を極めた。戦後編は有名企業の社長を列挙したが、紙数の関係で多くの人物を挙げきれなかった。現在編では、上場企業は代表会長、社長、代表副社長、代表専務、ジャスダック上場は代表会長、社長。未上場企業

戦前に活躍したOB

(昭和初期から終戦まで)

青山憲三(全国漁業連合会会長)、赤尾彦作(平沼銀行ほか役員)、阿川甲(新京倉庫運輸社長、新啓(庄力水力電気専務)、上畠益三郎(大阪株式取引所理事長、弁護士、衆議院議員)、大石 大(愛媛鉄道社長)、岡村玉造(佐賀炭

版、16年版(毎日年鑑の「日本人名鑑」にも収録されている人物でセレクトは困難を極めた。戦後編は有名企業の社長を列挙したが、紙数の関係で多くの人物を挙げきれなかった。現在編では、上場企業は代表会長、社長、代表副社長、代表専務、ジャスダック上場は代表会長、社長。未上場企業は社長を記載した。しかし、上場クラスの常務クラスには、社内No.2の実力者が多く、明日のトップ候補を記載できなかったのが悔やまれる。機会があれば後日、取締役以上の全員を紹介したい。尚、現在、日本の会社社長は、大学別ランキングで、法政OBは第6位の9625人(帝国データバンク956年経済学部卒)

戦後から2003年まで活躍のOB

した関西経済界の重鎮、政界では法制局長官)、田代与作久(第百七銀行頭取、田淵光一(日本重炭協会会長、衆議院議員)、千葉正美(東京砂糖取引所専務)、津原武(丹後織物、丹後縮緬同業組合会長、弁護士、衆議院議員)、寺田惣右衛門(丹後商工銀行、丹後鉄道など設立経営)、中司文次郎(今里土地専務)、中鉢美明(不動産銀行社長、東京市助役、中安信三郎(西陣祇園の産業振興の立役者、衆議院議員)、中山貞雄(東拓専務、衆議院議員、本高周波重工業役員)、淀川正充(津山ガス社長)。

戦後から2003年まで活躍のOB

藍川清秀(名古屋鉄道代表副社長、名鉄百貨店会長、青木昌尚(石川島芝浦機械会長)、阿部勘九郎(塩釜信用金庫理事長)、新井嘉明(マルヤ社長)、池谷徳雄(東京製鐵代表取締役)、石井雄二(リッカー社長、泉直太郎(築地東京青果物商協組理事長)、市川 隆(森電機社長)、市野利明(住友精密工業代表取締役)、伊藤乾二(小田急常務、小田急百貨店副社長、伊藤博人(ミサワリゾート社長)、伊藤万吉(伊達信

京浜工業地帯を望む



行会長)、栗林定四郎(三輪運輸社長)、桑沢宗久(日本青年会議所会頭、建材社社長)、香野重雄(京成タクシー、合同タクシー各社長)、後藤康雄(安田火災海上保険名誉会長、法大名誉博士)、小林秀雄(神戸電鉄社長、西条典雄(みやぎ生協組合長)、斎藤 浄(伊勢丹取締役、藤五百商店社長)、斎藤栄(相模鉄道代表副社長)、斎藤俊男(藤田観光自動車社長)、佐藤辰雄(明星食品社長)、酒井金之助(東洋国際石油社長)、坂田喜久一(遠州信用金庫理事長)、酒巻英雄(野村證券社長)、坂本勘七(海外漁業社長)、佐々木謙太郎(沖電気専務、東北沖電気社長)、佐藤守彦(東京時計製造社長) 沢村善彦(下田信用金庫理事長)、芝辻利夫(京王観光、京王サードビズ各社長)、清水好二郎(神田信用金庫理事長)、白井 要(水道機工社長)、白井晃(ヤマナカ力代表会長、須賀 清(京成電鉄常務、帝都交通自動車、東京湾フェリー各社長)、鈴木天(コムソン社長)、鈴木政夫(日本ベイント会長、関口幹夫(コニカ販売社長)、高岡宣彦(大成建設代表副社長)、高野勝一(パーカー加工社長)、高野 廣(第一證券代表副社長)、高橋辰輔(箱根登山鉄道社長)、高橋次雄(日本紙工業社長)、高橋義治

大塚 寿(鹿島建設代表副社長)、大塚芳満(大塚製薬工場社長)、大津 利(協同飼料会長)、岡 卓司(倉敷信用金庫理事長)、小形武徳(セガエンタープライズ代表副社長)、岡野閑治(西武建設、西武不動産各社長、プリンスホテル副社長、岡部弘(岡政社長)、尾崎一男(高鍋信用金庫理事長)、小野塚正衛(厚岸信用金庫理事長)、角田満(大阪住販社長)、加藤晃義(日本電気コンピュータシステム社長)、片岡清治(山二証券社長)、加藤乙三郎(中部電力会長、電事連会長、名古屋経済界の重鎮)、金井曹三(大分交通会長)、金岡秀幸(カネイチ社長)、金子光治(スリーボンド社長)、上久保武夫(中国電気工事代表副社長)、鎌田健一(山種証券社長)、神坂昂哉(近畿相互銀行社長、第一地銀会長)、唐沢繁雄(東光証券会長)、川喜多荘太郎(百五銀行頭取、会長)、北村猛徳(江之島鎌倉観光社長)、国之信晴(静岡ミサワホーム社長)、栗田裕夫(セブンイレブン社長、熊崎俊二郎(北日本相互銀行会長)、栗(イ・アイ・イ社長)、竹内 登(新町新組組合長)、立川昭典(立川社長、谷本 勲(コムソン社長)、田村富士夫(巣鴨信用金庫理事長)、千葉哲(宮城交通、宮城タクシー各社長)、中條晴夫(百十四銀行会長、香川県文化功労者、塚本勝巳(長谷工コミュニケーション社長)、戸上 一(戸上電機製作所社長)、戸嶋典一(鹿島建設代表副社長)、友田順治(日本鋼管専務、日本鑄造会長)、豊田富三(豊田合成代表専務)、鳥越孝治(インパクト社会長)、中川勇吾(ベシフィック通商社長)、中里直己(東京部品工業社長)、長沢正夫(野村證券専務、野村證券投資委託社長、証券投資信託協会会長)、中西政一(日本歴青工業社長)、中野勝義(全日空創立者、全日空代表副社長のとき事故死)、須賀正信(北海道信用保証協会理事長、北海道副知事)、新関 宏(関東バス、東急車両製造各社長)、西村虎一(理研紙工業社長)、秦 設爾(九州相互銀行社長)、服部安治(焼津信用金庫理事長)、治山 孟(都民信用組合理事長、平井達三(大和製鋼社長)、平井平治(帝國石油代表副社長、大蔵省東海財務局長)、広瀬秀雄(日興証券常務、東洋証券会長)、深沢正昭(東京青果社長、福島銀行(日本通運社長)、藤江 清(神戸商業信用組合理事長、藤崎勝雄(川内信用金庫理事長)、藤本哲(全国相互銀行協会専務理事、大蔵省東北財務局長)、細川輪吉(塩社長)、堀秀雄(宮城交通社長)、前川 浩(西洋



Quality Writing Instruments Since 1918

「書く文化」を、次代に伝えるために。

文字を書くことは、よく考えることである。自分を見つめることであり、他の人を思いやることである。その意味で、「書く」ことは、最も人間的な営みのひとつであり、「文化」の根幹であると言えます。

パイロットは、商品づくりを通じて、我が国のみならず、広く世界の「書く文化」の礎でありたいと思っています。

代表取締役社長 高 橋 清

株式会社パイロットコーポレーション
〒104-8304 東京都中央区京橋2-6-21
TEL. 03-3538-3700(大代表) http://www.pilot.co.jp

清水建設株式会社

〒105-8007
東京都港区芝浦一丁目2-3 シーバンスS館
Tel : 03-5441-1111 (大代表)

現在活躍中のOB

2005年10月現在

(マスコミ関係除く)

青木良元(利根コカコーポリング社長)、浅井誠一(石井食品専務)、東明勝(琉球セメント代表会長)、穴見陽一(ジョイフル社長)、虻川東雄(東光鉄工社長)、安藤邦夫(昭和化学工業代表専務)、新井欣弥(鹿島建設代表副社長、かたばみ興業社長)、安藤健吉(安藤証券代表副社長)、飯田善輝(前田証券社長)、飯塚 勲(京成電鉄取締役、関東鉄道社長、飯沼 浩(タスコシステム社長)、五十嵐龍二(太平代表会長)、石井康三(近江兄弟社長)、石井敬啓(フルキャスト専務兼フルキャストファクトリー代表取締役)、石崎信三(石崎本店社長)、石田卓雄(日本ビクター取締役兼AV&マルチメディア副社長)、石橋 直(西松建設代表副社長)、石橋保彦(平

長)、植田尚裕(ホテル京急社長)、植田四三郎(フアミリーマート専務)、植村光佑(アンセイ社長)、氏平鏡重(尼崎信用金庫代表会長)、梅崎利秋(新京成電鉄社長兼京成電鉄取締役)、江間洋介(江間忠木材代表会長)、江守清隆(江守商事社長)、大泉政治(オイスミ社長)、大江通浩(千代田製作所社長)、大内学(空港施設代表副社長)、大内昭彦(リソテック社長)、大亀 裕(タイキ代表専務)、大久保貴泰(アラムック社長)、大島勇次(明治安田生命顧問、法大名譽博士)、大田明光(日本プリメックス社長兼会長)、太田好宏(イワフチ社長)、大滝義彦(中央魚類専務)、岡田安弘(昭和コンサルティング代表取締役)、岡本 英(ラ・アトレ社長)、萩原久示(コックス社長)、小佐野文雄(日本ハウフインク会長)、小田桐健蔵(角弘代表副社長)、小原 尚(奥村建設社長)、甲斐真(旅籠屋社

長)、金 洛殊(金井観光グループ社長)、工藤長生(鉄建専務)、国重忠之(カントリー代表会長)、久保春人(みらい建設グループ取締役兼みらい建設工業副社長)、熊谷美恵(ヒットメーカー社長)、桑野秀光(曙ブレーキ工業代表取締役)、古泉 肇(亀田製菓代表会長)、河本隆雄(アシード社長)、小島孝雄(島忠社長)、小林辰興(栃木銀行頭取)、小松喬一(大塚包装工業、大塚製薬工場各社長)、小松正信(トウアカルプ本社取締役兼東亜エンジニアリング、トウアカルグオパシス各社長)、小森谷三令(自動車電機工業社長)、小山重雄(ツツヤ社長)、小山隆一(日本ヘルスケアテクノ社長)、今野康裕(サハダイヤモンド社長)、三枝達美(フジマ専務)、嵯峨 明(不二サッシ社長)、坂井久道(リズム時計工業専務)、坂谷藤五郎(昭和真空専務)、坂戸俊夫(信金中央金庫専務理事)、佐々木勲(空知信用金庫理事長)、佐々木孝治(ユニー社長)、佐々木俊司(塩電信用金庫理事長)、佐藤勇夫(宮崎銀行頭取)、佐藤 修(オリンピック専務 佐藤康雄(日本エリキード社長)、斉藤俊雄(ボッシュ専務)、佐藤成一(タイセイ社長)、真田俊道(芝浦メカトロニクス専務)、篠崎芳明(日本興亜損害保険代表副会長)、篠崎愛美(チアコンシステム社長)、島川隆哉(ジャパンエルスサミット社長)、清水彰(アオキインタナショナル専務)、嶋本博(防府信用金庫理事



六本木ヒルズから見た愛宕界隈

井勝治(ミツバ専務)、田中省三(電子システム社長)、田中八郎(スカネスパー代表会長)、田邊長、田邊光(信金中央金庫常務理事)、玉虫俊事、玉虫俊夫(十字屋社長)、田谷哲哉(田谷代表会長)、垂石克哉(オリコ専務兼オリコエンターテイメント社長)、知念栄治(りゅうせき代表会長、サカミ社長)、鈴木武司(リ塚本幹雄(コマニ社長)、月岡和夫(カッシーナ・イクスシ社長)、辻 幸夫(ビック東海代表副社長)、土屋健一(NECインフラティア代表専務、土屋孝男(SMBフレンド証券代表専務)、綱島世二(酒井重工業専務)、津曲兼勇(東京三協信用金庫理事

貴重な校友データ

16分野3500人



私、徳井は、1956(昭和31)年3月に法政大学経済学部を卒業した。その後、地元札幌のデパートに勤める傍ら、法政大学への想いから、法政大学の有名OBの記事収

野球、アマ野球、各種スポーツの16分野に区分してまとめている。私の晩酌は、オルゴールで校歌を聴き、収集した有名OBの整理、ファイルを見ながら始まる。ファイルを見るにつけ法政で学んだ幸せと誇りが増幅され、酒量も進む。校歌を口ずさむことになる。だが法政一辺倒ではない。『慶応も良いでしょう』『早稲田も良いでしょう』と学生、OBに強い絆が形成されることを確信している。

近々、ファイルからセレクトして『法政おかわり』が母校一分野別OB人脈考察(仮題)で出版の予定。私の夢は、この本を、在学生、特に3月の卒業生、4月の新入生に読んでほしいことだ。独創的で多彩な有名OBを再認識することで、法政に学んだ(学ぶ)誇り、自信、愛着が一層深まり、先輩に続く旺盛なファイトが醸成され、大学、学生、卒業生が一体となり強い絆が形成されることを確信している。

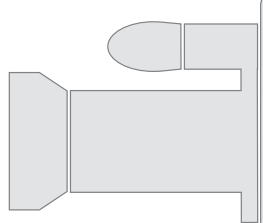
磯子カンツリークラブ

横浜市磯子区洋光台6-43-24
TEL045-833-0641 FAX045-832-2120

キングフィールズゴルフクラブ

千葉県市原市新巻377
TEL0436-36-6111 FAX0436-36-6130

1963年 経営学部卒
代表取締役 鈴木 康浩



映像制作・(VTR)ロケーション・編集・録音・納品
印刷・企画・レイアウト・校正・納品
航空写真・セスナ機・ヘリコプター常備会社と提携
スチール写真・報道からコマーシャル等写真撮影全般
コンピューター・ホームページコンテンツ企画・作成



株式会社 **カンノン社** (創業36年)
〒105-0004 東京都港区新橋2-15-5 TEL.03-3501-1888
E-mail:kannon-sha@nifty.com
代表取締役 **水嶋雅之**(昭和36年 経済学部商業学科卒)
校友連合会・広報委員会委員・法友さくら会常任幹事・湘南支部会員



体育・スポーツ研究センターは、体育・スポーツの振興と調査・研究を目的として、1976(昭和51)年4月に設立されました。現在は、各学部・研究所に所属する12人の体育教員を中心

に、「スポーツの調査・研究」、「課外体育の円滑な運営」、「スポーツ活動、一般学生や教職員に対して、健康維持増進のための指導、体力測定、トレーニングの助言」、「正課体育の運営、実技指導、健康に関するアドバイス等を行なっています。

一方調査・研究活動は、スポーツ方法、運動生理学、スポーツ心理学、発達発達健康学、生涯スポーツなど多様な分野にまたがっています。この中には、「大学生の体格・体力、スポーツ選手の種目別体力に関する

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

法政の誇る研究所紹介

体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター



リーディング・ユニバーシティ オレンジ旋風!!

文武両道・希望のひかり



いま、6大学野球を筆頭に、希望の「オレンジ旋風」の快進撃が止まらない。リーディング・ユニバーシティを目指す教学改革とスポーツの文武両道の総合力が目覚ましい。常に勝ち抜く「強い大学」として自信をもって行動するスキルが注目されている。しかも、飛躍し前進する知・情・意の学習と経験の「場」として大学の高い機能は、伝統という校風と共に創りあげ、大きな目標へのチャレンジ精神を持続する若き日の誇り、を高高らかに歌い、応援に行こう。(取材/伊藤正義・写真1部協力/広報・広報課)



東京6大学野球秋季リーグ戦
金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

金光野球・三気
9季ぶり完全優勝

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

「法政の誇る研究所紹介」
体育スポーツ研究センター

経済学部 1960 年卒

酒井医療株式会社	代表取締役 社 長	加藤 毅	経済学部1960年卒
曙ブレーキ工業株式会社	代表取締役	桑野 秀光	法学部1960年卒
株式会社 森パール	取締役会長	森 勲	経済学部1960年卒
センチュリー証券株式会社	代表取締役 社 長	野澤 正平	経済学部1964年卒
奥村建設株式会社	代表取締役 社 長	小原 尚	社会学部1966年卒
リンテック株式会社	代表取締役 社 長	大内 昭彦	法学部1967年卒
株式会社 光芸	代表取締役	大島 光雄	工学部1972年卒
株式会社 ティ・ケイ・アール	取締役会長	倉持 正	法学部1976年卒
弁護士法人渋谷シビック法律事務所	弁護士	齋藤 友嘉	法学部1977年卒
株式会社 きかんし	代表取締役 社 長	会田 勇	文学部1968年卒

学び一生

法政大学エクステンション
カレッジを訪ねる

講座内容は豊富

法政大学エクステンション・カレッジは、1998年に法政大学の生涯教育部門として設立された。現代社会は工業社会から、知識社会に移行している。このような社会では、自身のキャリアを今以上に蓄積し、中身をチェンジしようとする社会人が増えている。法政大学エクステンション・カレッジは、このような学習

魅力の講座いろいろ

開講講座は多岐にわたっており、ビジネス系を中心として、キャリア、情報技術、文化・教養、資格、語学、そして特別セミナー等が用意されている。エクステンション・カレッジは、基本的には会員制をとっているが、見方、買い方、調べ方」者には年々増加しており、04年の数字をみると8000人の数字をみると8000Xから登録ができる。

また、法政大学卒業生は受講料が割引となる講座がある。05年に開講された特徴ある講座は次のようなものがある。

・ビジネス系 「不動産の見方、買い方、調べ方」
・文化教養 「これだけは知っておきたいマネープラン総合講座」「神楽坂を歩く」
・「江戸東京の坂めぐり」
この講座は06年1月14日(土)、2月11日(土)に継続してあり、また「落語への招待」がある。05年に開講された特徴ある講座は次のようなものがある。

落第講師から修了生の皆さんへ

明田川 融(あけたがわ・とおる) 講師
(96年度大学院社会科学部
研究科政治学専攻博士課程
修了・本学法学部兼任講師)

発見や問題点に気づかされ、皆さんのおかげで、まさに授業とは、教える側と教えられる側との相互作業なのだということを実感したいです。

受講生の声

性」は重要です。私はそれを否定するつもりはありません。けれども、それとは(おそらく)関係なしに、ひたすら「日本の肖像」を探究しようと思ってくれた皆さんに、私は感謝しています。そして、世のなかには、すぐには役立ちそうでないけれども、長い眼で見るとけっこう大切な問題に切り込んでいこうとする遠大な学問世界もあるのだということを中心に、これから御自身を研いでいってください。

『人事コンサルタント養成講座——第7期生——』

小島 一行さん(01年経営学部経営学科卒)

現在、IT関連企業を対象としたアクセスメントツールの販売に携わっており、それら企業の人材開発を担当する部署に、仕事上多く関わっています。今回人事コンサルタント養成講座を受講したのも、この分野の知識を深め、その仕事に役立てたいと考えたからです。

そんな授業にもかかわらず、毎回欠かさず出席してくれた皆さんの刻苦精励ぶりは賞賛に値します。1回につき10頁あまりの英文を精読し、それを元に議論することは、講師の私にとっても刺激的であり、時に、今まで思いもよらなかった

『大人のための古典文学』

杉原 マユミさん(84年通信教育部文学部日本文学科卒)

「働きながら学べる」場である通信教育部に在籍していました。このころに興味を持ち、もっと深く学んで

講座『神楽坂を歩く』を体験して

高根 典文(67年経済学部卒) 講座受講生

05年11月6日(土)に当講座が公開されました。屋の12時に飯田橋西口に集まったのは、男女合わせて20人程で、丁度男女半数ずつであった。講師案内人は、神楽



坂育ち、そして神楽坂を誰よりも愛する「神楽坂まちの手帖」編集人の平松南先生からコース説明があり、先ずは「軒子坂」を上り「料亭街の路地」へと向かった(写真)。かくれんぼ横町、兵庫横町と呼ばれる石畳の美しい路地は、最近若い人

東西南北

台東支部
創立55周年記念
総会盛大に開催

台東支部の創立55周年記念総会が05年6月18日、浅草江ノ島で70人が参加し、盛大に開催した。

河原幹事長の司会のもと、中川幹事の開会宣言でスタート。まず、中島支部長から「楽しいひととき」と笑顔であ



いさつ。ついで顧問の内山栄一元区長よりあいさつ。次に元校友会会長の松村幸雄相談役から発展を遂げ、母校の近況を、乾杯を石原若江光前支部長の発声でワイングラスを上げた。まもなく、各テーブルにマークが回って自己紹介。

業界各界で大活躍の面々、年齢も職業も違っても同じ学校を卒業した仲間が「やっぱりいいですねが一致した声。ゲストの栗田真帆さん(台東区下町親善大使のすばらしい声)とつづいて、続いて全員に当たる抽選会に大歓声。

大いに盛り上がった締めくくりに、全員輪になっての校歌斉唱。丸ごと学生になりきった至福のひとときを「来年は100人ぞういしょう」と小島幹事の辞で閉じた。

(河原)

第83回総長ゴルフ杯争奪戦、宮沢さんが優勝

第83回総長杯争奪ゴルフ杯が晴天に恵まれた昨年10月13日(日)、栃木カントリークラブで28人が参加しておこなわれ、クロス84、ネット70・8で宮沢三男さんが優勝した。

同会は、大内兵衛総長の時の昭和30年、大学理事で校友会長を務めた福島敏行日本通運社長と評議員で後に大学理事を務めた石村幸一郎(栃木カントリークラブ創業者)氏が中心となり卒業生の集まりの一環として総長杯ゴルフを冠とする法政大学校友ゴルフ会として発足した。

足立時、平井平治国石油副社長、清水エーザイ専務など40人ほどが参加しその後も各支部出身者が春秋の2回(時期中断)集まり実施してきた伝統のあるゴルフ会。

元大学評議員で現会長の遠藤隆三氏は「大内総長は卒業生の求心力になる卒業生団体を創ることに熱心でその影響を受け各団体が生まれてきたと認識している。他の団体と同様永遠に発展するよう努力していきたい」と語る。尚、今年50周年を迎えたのを機に首都圏を中心にゴルフ会参加者を集めている。詳細についての問い合わせは事務局電話・03・53278・7566まで。(事務局員・豊泉一秀)。

愛媛講演・法律相談会開催

昨年8月27日と28日愛媛県西予市と宇和島市に於いて、法政大学法律相談部主催の無料法律相談と講演会が開催された。27日の講演会は西予市文化会館にて、宮本健蔵法学部教授(74年卒)、関口信之首都圏不動産公正取引協議会常務理事(69年卒)の両氏。市民生活と法律をテーマとしての話、好評を博した。

法律相談は地元愛媛の高橋正明、高知の山岡敏明、石川裕一の各弁護士のご協力を得て、法学部学生が相談を行い両日で63件に及んだ。これらの開催に際しては、三好幹二西予市長始め校友連合会愛媛県支部の皆様にも大変お世話になった。学生にとってもこれからの糧のひとつになったと思う。また地元にとっても大変有用な行事であったと思ふ。

新潟支部 公開講演会を開催

(松山市 能田雅雄(71年法卒) 校長から父兄後援会及び校友を前に、「現在は、物づくりだけでなく、知的創造性が求められる。時代に即した教育プログラムを開発し、社会人として自立し貢献する人材をどう育てるのか」、改革に取組み、法政大学の校名を高めたい」と、「大学の現況と未来像」と題した特別講演、大学の改革、展望はまさに進取の気象質実の風の感を

得る。続いての「九州ブロック総会」では、岩部校友連合会会長から「法政の校格向上、法政ブランドを上げよう」その為、我々卒業生校友は、それぞれの地域社会に貢献し、校名を馳せようではないか」との激励挨拶で始まり、各支部活動報告、校友連合会本部に全国大会の継続開催や支部活動の支援をお願いし、また楽しからずや、「良き師良き友ついで結ぶ懇親会、市ヶ谷キャンパス外灘の郷愁。会場一杯に校友の心温まる交流、親睦のパーティとなり、母校と校友連合会の発展、校友の健康、活躍を祈り、「法政、我が母校」校歌高らかにひびくなか、次回大分支部での再会を誓う。(宮崎支部事務局員 川越悦生)

九州ブロックOBの集い 05 in 宮崎

05年9月17日(土)午後3時から宮崎観光ホテルで開催、大分から平林千枝総長、校友連合会からは岩部金吾会長を来賓に迎え、九州ブロック会と地元宮崎校友120人集う大会となる。

ブロック会に先立ち、平林千枝総長が挨拶。平林千枝総長は、昨年8月19日、新潟市のホテルイタリヤにて、平林千枝総長を招き公開講演会「地域活性化への課題」を開いた地元からもOBの亀田製菓・新潟市会長の古泉肇氏が講演した。ビッグな講演2本立てに県内OBと一般市民約80人が参加、会場は熱気に包まれた。



新規設立支部・団体の紹介

◆東京法政ライオンズクラブ ◆京都オレシキクラブ ◆双葉電子工業法友会 ◆アカデミックビジュアルインベス トメント法友会 ◆パイロツ トコーポレーション法友会 ◆人間環境学部同窓会「いちえの会」 ◆川口法友会



会場となった久邇カントリークラブ（埼玉）

第4回オール法政ゴルフ大会 開かれる

久邇カントリークラブで

2006人が参加

第4回オール法政ゴルフ大会「総長杯」(校友連合会主催、大学・大学後援会後援)が昨年の11月1日(火)飯能市の久邇カントリークラブで大学、校友会関係者など卒業生206人が参加して開催された。

大会は18ホール・ストロークプレイ・ダブルベリア方式で行われた。前日までの寒さから一転9月中旬を思わせる汗ばむ程の陽気に恵まれ、またコースもグリーンを中心に最高のコンディションのなか参加者は日頃の腕前を競い合い、最終ホールまで熱戦が繰り広げられ、クロス93・ネット71・4の成績で中島義夫氏(自動車部OB会)が見事に優勝、岩部金吾校友会長から総長杯のほか副賞が

また準優勝の塩田真博氏(ゴルフ部法友会)、第3位の青山信之氏(スキー部OB)にそれぞれ豪華賞品が贈られた。

ベストクロスは、塩田真博氏(東・北コース)75、河野正裕氏(北・西コース)79、石橋直氏(西・東コース)84の3氏が獲得した。(なお、成績同ネットの場合は年齢順)。

ホールアウト後の表彰式で岩部会長は「今日のゴルフ大会もそうだが、校友がこうした出合いを通して親交を深めるとともに互に一体感を高めることが母校への支援の礎となる。ゴルフ大会、新春を祝う会や全国卒業生大会はもちろん新たに学部対抗ゴルフ大会などの企画を計画しているのでは是非多くの方の参加を期待している」とあいさつ。

パーティーは金子征史法学部教授の乾杯で始まり、

キングフィリズゴルフクラブで開催致します。初参加希望者(個人・グループを問わず)は、ハガキに住所・氏名・卒業学部・卒業年を書いて校友事務局まで。開催時に案内・申込書を送付。

(文・写真/宮本幸彦)

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
1	中島義夫	93	21.6	71.4
2	塩田真博	75	3.6	71.4
3	青山信之	85	13.2	71.8
4	下道盛行	95	22.8	72.2
5	中田泰司	77	4.8	72.2
6	氏井東一	94	21.6	72.4
7	久保田和則	94	21.6	72.4
8	佐伯博	88	15.6	72.4
9	市村正臣	86	13.2	72.8
10	桑野秀光	103	30.0	73.0

両陛下が人間国宝鶴賀若狭猿の浄瑠璃を鑑賞

05年9月10日午後、紀尾井ホールで、新内浄瑠璃の人間国宝鶴賀若狭猿(つるがわかのじょう)の公演「新内の魅力を聴く」が開かれ、両陛下が鑑賞された。

(宮本幸彦)

全国卒業生の集い

今秋、沖縄で開催

第14回法政大学全国卒業生の集いは、「沖縄」に決まりました。多数の方の参加をお待ちしております。

日程 2006(平成18)年10月27日(金) 親睦ゴルフコンペ

10月28日(土) 大会式典
10月29日(日) エクスカーション
詳細は後日、お知らせいたします。問い合わせ先/校友連合会事務局03・3264・1831

原稿募集

次号の発行予定は2006年8月1日です。

短編など近況、ご意見をお寄せください。地域・クラブ・個人近況などは250字以内で。住所・氏名、電話、学部、卒年(西暦)を明記の上、6月末日迄にハガキでお気軽に事務局まで。

また、広告掲載ご希望の方も歓迎です。

お問合せ・原稿送付先は
東京都千代田区九段北3-1-3 法政大学九段校舎 4階
法政大学校友連合会
事務局気付広報委員会宛
電話 03・3264・1831
FAX 03・3264・4770

卒業生のみなさん 校友連合会の活動に 参加しましょう

法政大学卒業生の組織、校友連合会は、傘下の各組織の理解と協力の下に実績を積み重ねている。母校法政大学は新旧総長のもとで大胆な改革をすすめ、今もつと注目されている大学となっている。

大学と卒業生がともに手を取りあつてこそ母校の発展もあり、卒業生の組織はまだ発展途上。1人でも多くの方に参加いただき、青春をともにした同窓、大学の仲間たちと楽しみながら、母校を応援していきたい。大学との楽しい企画や校友が集うイベントも開催されている。

校友連合会に参加するためには、次のいずれかの手続きをしてください。校友連合会への参加年会費は3000円。地域支部、同窓会、会員団体などに参加する方法もあります。各団体ではそれぞれに運営費が必要になる場合があります。

●申し込み、お問合せは校友連合会事務局へ。

T102-0073
東京都千代田区九段北3-1-2-3
法政大学九段校舎4階
TEL 03-3264-1831
FAX 03-3264-4770

校友連合会顧問に10人就任

校友連合会では、組織を強化し、一体感を醸成するために、この程、連合会の顧問を選出。次の10人の方に就任を要請し承諾された。(敬称略)

顧問
末石恒夫、佐伯弘治、星野次男、柳澤千昭、森脇英裕、河端照孝、古澤壽輔、松本孝利、福元淳一、斎藤友嘉。

お詫び・訂正

前号の紙面で、いくつかの誤植がありました。ここに、訂正してお詫び申し上げます。

1面、岩部金吾会長略歴中、安芸生まれば呉市生れ。シャッターはシャッターに。2面の代表議員の経歴記述で、潮崎敏彦(60・経・経)↓(70・経・経)末石恒夫(80・経・経)↓(51・経・経)の2氏。大井巳喜彦の略歴では(64・

事務局から お願い

法政大学校友連合会各地域および卒業生団体の総会、催事等の開催にあたり、大

役員会・委員会記録

(2005.6.18~2005.11.30)

◆役員会(理事会)	第2回	05年10月8日
◆正副会長会	第1回	05年7月14日
	第2回	05年8月23日
	第3回	05年9月28日
	第4回	05年11月15日
◆総務委員会	第1回	05年6月27日
	第2回	05年7月26日
	第3回	05年9月26日
◆組織委員会	第1回	05年6月28日
	第2回	05年8月2日
	第3回	05年9月30日
	第4回	05年10月21日
	第5回	05年11月18日
◆財務委員会	第1回	05年7月1日
	第2回	05年7月29日
	第3回	05年9月9日
	第4回	05年10月7日
	第5回	05年11月21日
◆広報委員会	第1回	05年6月22日
	第2回	05年6月29日

財務委員会

第1回 05年7月1日
第2回 05年7月29日
第3回 05年9月9日
第4回 05年10月7日
第5回 05年11月21日

広報委員会

第1回 05年6月22日
第2回 05年6月29日

事業委員会

第1回 05年6月24日
第2回 05年8月4日

編集後記

今、全国に1,061校もの大学・短大がある。かつて、駅弁が売られるような地方都市にも必ず大学があると、大宅壮一が「駅弁大学」と皮肉ったことがあるが、いまや「コンビニ大学」と言っても過言ではない。大学・短大の数と学生数を単純に計算しても、在学生およそ300万人に対して1061校なのだから、一校平均2800人ほどとなる。コンビニの商圏対象客数より少なくはないか。サテライトキャンパスをつくって社会人や高齢者を呼び込む努力をしている大学も、大学は生き残りをかけて経営に必死である。知恵を絞る力や力に特色を出し、教学改革に取り組む。キャリア教育も研究部門教育も欠かさない。大学教育の将来が問われている。わが母校がどのような状況にあるのか、それを支える一翼として卒業生がいる。卒業生は大学に何を支援できるのか。社会に羽ばたき活躍することに尽きるかもしれないが、余裕ができれば、卒業生の集い、大学と一体となる活動に参加して母校の発展に寄与したい。母校オレンジの輪を拡げたい。卒業生の大学への応援が期待されている。初めからホアンナードに思い馳せ (竹内實昭)

訃報

小野田雪堂さん(本名・穂)。05年10月17日死去。82歳。72年大映入社。映画・テレビに活躍。経済学部同窓会初代副会長。氏の提唱で96年に「平和記念碑」が多摩キャンパスに寄贈された。

根上淳さん(本名・森不)